



北京日本人学校 ほけんだより
No.4 令和6年度 7月号

もう少しで夏休みになりますね。最近、子どもの水の事故が増えています。プールや海に行く前は、お家の人とよく話し合ってから遊ぶようにしましょう。みなさんが事件や事故に巻き込まれることなく、元気な姿で新学期にお会いできることを楽しみにしています。

水の事故に注意!



夏は、海や川、用水路などの水辺に遊びに行く人が増え、水の事故が起こりやすい季節です。行き慣れた場所でも、子どもだけで水辺に行くのは絶対にやめましょう。



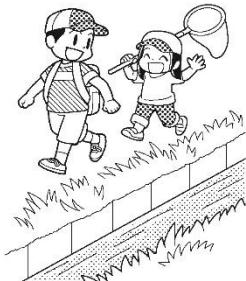
水の事故が起こるのは

水泳中

水遊びをしていて

つり・魚とりをしていて

水辺の近くを歩いている



だれかが水に落ちたら

大声で大人を呼ぶ

空のペットボトルなどを投げる

腹ばいになって、棒やベルトなどを差し出す



立っていると、引っぱられて落ちてしまいます



雨が降ったあとは、晴れていても、急に増水することがあります。絶対に水辺に近づいてはいけません。



絶対に飛びこんではいけません!



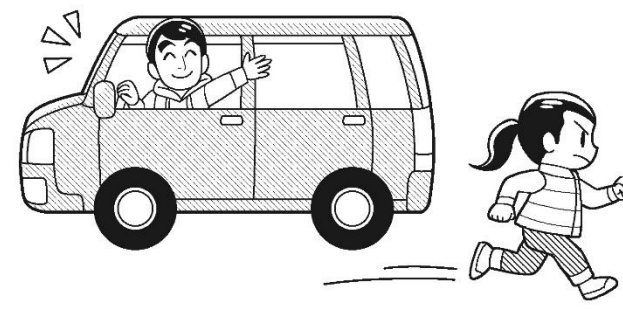
事件や事故に巻き込まれないように注意

事件や事故の多くは、自分の行動やその場のかん境に気を配ることで、防ぐことができます。休み中に、事件や事故に巻き込まれず、安全に過ごすためにはどうすればいいのか、もう一度考えましょう。

事件に巻き込まれないための合い言葉「いかのおすし」

「いか」ない：知らない人にはついていかない

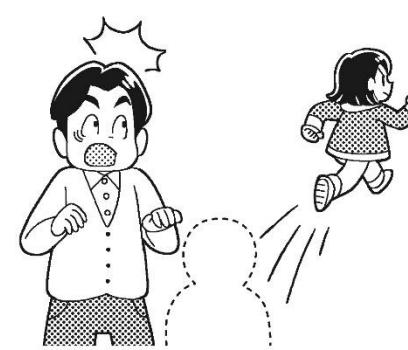
「の」らない：知らない人の車には乗らない



「お」おごえをだす：危険を感じたら大声で助けを呼ぶ

「す」ぐにげる：危険を感じたらすぐににげる

「し」らせる：何かあったら家の人にすぐに知らせる



<雷・落雷時の対応>

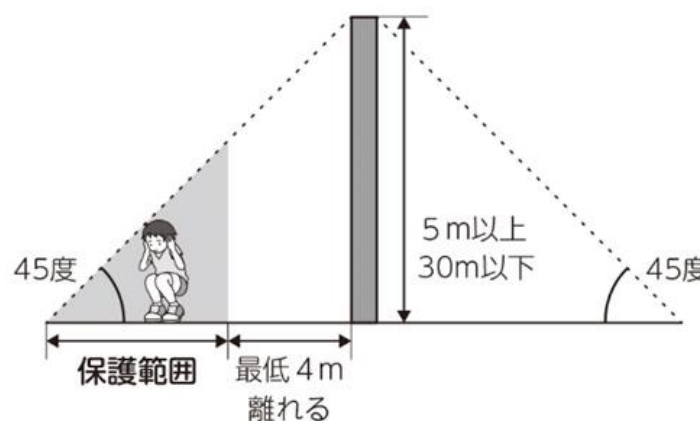


自分の身を自分で守る!!

高さ5~30mの物体のとき

高さ30m以上の物体のとき

<高いものから離れて・小さくなる>



*「周囲に家族以外の人がない屋外」と想定し、マスクを着用していません。